

令和元年台風第8号による被害及び 消防機関等の対応状況（第4報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

令和元年8月13日（火）17時00分

消防庁 応急対策室

※下線部は前回からの変更箇所

1 気象の状況（気象庁情報）

- ・ 8月2日9時に発生した台風第8号は、発達しながら北西へ進んだ後、強い勢力となって5日夜から6日にかけて九州に接近し、九州南部、九州北部地方では猛烈な風や非常に強い風が吹き、局地的には雷を伴った非常に激しい雨が降った。
- ・ 強い台風第8号は、6日5時頃に宮崎市付近に上陸した後北上し、やや勢力を弱めて同日午後には対馬海峡に進んだ。
- ・ 西日本では大気の状態が非常に不安定な状態が続き、四国、九州北部地方では7日にかけて激しい雨が降った。
- ・ 台風は、7日未明に朝鮮半島に上陸した後、同日9時に熱帯低気圧に変わり、その後、同日15時に温帯低気圧に変わった。

2 被害の状況

- (1) 人的被害 6人
- 【福岡県】 軽傷 2人（福岡市）
 - 【大分県】 死者 1人（九重町）
軽傷 1人（日出町（ひじまち））
 - 【宮崎県】 重傷 1人（延岡市）
軽傷 1人（綾町）
- (2) 住家被害 10棟
- 【福岡県】 一部破損 3棟（北九州市2、芦屋町）
 - 【大分県】 全壊 1棟（佐伯市）
 - 【宮崎県】 一部破損 2棟（都農町）
床上浸水 2棟（延岡市）
床下浸水 2棟（延岡市）

3 避難指示（緊急）及び避難勧告の発令状況（8月7日2時10分現在）

発令されていた避難指示（緊急）及び避難勧告は、すべて解除

4 避難の状況（8月7日9時00分現在）

避難者なし

5 地元消防機関の対応

被災地では、地元消防機関（消防本部、消防団）により、早期避難の呼びかけ、警戒活動等を実施

6 消防庁の対応

- 8月5日 9時50分 関係省庁災害警戒会議に応急対策室長が出席
9時55分 応急対策室長を長とする消防庁災害対策室を設置（第1次応急体制）
→8月13日 17時00分 廃止
- 13時23分 都道府県、指定都市に対し「台風第8号についての警戒情報」を発出

問い合わせ先
消防庁 応急対策室
高橋・濱田・高木・中尾
TEL 03-5253-7527
FAX 03-5253-7537